テンタ君だより NO.12

長田商業高等学校
2月28日　発行

先生方からのメッセージのまとめです。

　苦しみは乗り越えるためにあるのです。どう乗り切るか、そこが腕の見せ所でもあります。艱難辛苦を乗り越える度に人は大きく成長します。成長するごとに苦しみも大きくなるかも知れません。しかし、必ずや乗り越えられ、笑える時が到来するのです。人生はその繰り返しです。

　不満ばかりを語っているようなら、うまくいかないことも増えてしまうでしょう。怠ける人より努力する人の方が結果につながるのは明らかです。

　自分の抱いた夢に向けて、大きく羽ばたき、その夢を叶えた先輩に負けないよう、新たなステージでご活躍されることを心から祈念しております。

　未知の世界へ一歩踏み出すことで、新しい出会い、新しい経験、という人生においてかけがえのない宝物を得ることができるのです。

　いつの時も「明日があること」を忘れないでほしいと思います。そして、明日はきっといいことがあるのです。

　求められるのは、求められている以上の成果を出そうとする前向きな姿勢と、周りへの感謝の気持ちです。

　今みなさんは、高校生活をやり遂げた自信と達成感で、さらにキラキラと輝く美しい顔をしています。今の美しさをベースにして、もっと自分らしく輝いて、自分の価値がにじみ出る顔を作っていって下さい。

　私はいつもチャレンジするときに大切にしていることがあります。それは迷ったら困難な道を選ぶことです。そうやって選択したことが明日の自分や、未来の自分をつくっていくのだと私は信じています。

　社会に出ると注意してもらえる人こそ大事にしなければなりません。大人になると注意してくれる人がいるというのは本当にありがたいことです。

　一見、無駄に思えることが人生を豊かにしてくれます。だから、すべてのことに全力を尽くしてください。失敗や遠回りも楽しんで。

　私は人間が花を開くためのきっかけは、「縁」だと思います。そんな「縁」に感謝する心を持ち続けて、あなただけのきれいな花を咲かせてください。

　新たなステージでもコツコツと一つずつ積み重ね、「自分でもできるんや」と自信を持ってください。ただし、自信過剰で調子に乗ることとは違いますので、ご注意してください。

　みなさんには、多くの思い出があると思いますが、この学校で過ごした時間は確実にみなさんを形作っています。

　一人で抱え込まず、みんなで協力し合って頑張ってほしいと強く思います。これから先、つらいことがあったときは周りの人を頼り、チームで戦うこと、頑張ることを忘れないでください。

　「学ぶ姿勢」、「よく聴くこと」、時代が変わってもどんな場所でも必ず求められることではないしょうか。

　みなさん、１日２４時間という限られた時間の中ですが、仕事や学校以外に何か新しく始めてみませんか。そんな気持ちは、心や体をリフレッシュさせてくれると思います。

　皆さんには目標や、夢や希望があると思います。そんな中で、ときには困難な場面もあるでしょう。でも皆さんには乗り越える力を持っていることでしょう。

　自分にとって何か困難なことが起こった時、誰しも自分の境遇や他人のせいにしたくなることがありますね。そんな時、自分の考え方や行動を変えてみてはどうでしょうか？

　おおきなこころで
　めんどうなことに
　でくわしても
　とことんつきすすみ
　うんめいをきりひらけ

　生徒たちの未来を案じて泣くわけではない。ただ単に、寂しいだけなのかもしれない。もしくは、卒業していく生徒たちの高校生活を振り返り感慨にふけているのかもしれない。しかし、人前で涙してしまう卒業式は好きではなくなった。

テンタ君だより NO.12

長田商業高等学校
2月28日　発行

卒業記念号として、卒業文集から卒業生と先生方のメッセージの一部をまとめました。

卒業生のメッセージ

1年間2人でよく頑張ったなって思います。自分でも最初は「暇なんやろなー」って思っていました。特に学校行事なんか絶対暇やんってね。でもめっちゃ楽しかった。ボウリング大会や、球技大会、校外学習など、たった1年間だけでも濃い思い出ができました。

4年間よく頑張りました。入学して最初の頃は、学校行くのが面倒くさくて休んだりしてたけど、今は面倒くさい気持ちなんて全くないし、むしろ「はよ明日にならんかな」って楽しみにしてるくらいです。そんな学校生活ももう終わり。あっという間でした。

私の学校生活の4年間は、友達やたくさんの先生方みんなに支えられたものでした。

私は人一倍優柔不断でやりたいことがたくさんあり、そのこともあって、学校もよく早退や遅刻や欠席を繰り返して、先生方には沢山迷惑をおかけしました。しかし、私はいい先生方にも巡り合うことができました。

よく「高校の時にできた友達は一生の友になる。」と聞いたことがありますが、本当にそうだと思います。特に用がなくても自然に集まり、自分の素を出し何でも話せて笑いあえる友達ができました。出会えて本当に良かったです。

私が学校生活で学んだ事は、人間関係と勉強することの大切さです。様々な人と出会ってコミュニケーションを取ることは凄く大切だと思いました。

私は勉強が苦手だったので、ついていくのが心配だったけれど、先生達が優しくゆっくりと教えてくださったので、学校がとても楽しみになっていきました。

私は今まで検定自体を受けたことがなく、興味もなかったです。ですが合格発表の時に自分の番号があった時は、とてもうれしかったです。

そのときに検定を受ける楽しさと合格するうれしさを知り、もっと上の級を取りたいと思いました。

これからは資格を取ってよかったと思えるように頑張ります。

今年は、進路のことに向き合いいろいろと悩みました。そんな中、先生や支えて下さった方には、感謝しかありません。合格した時は、本当に嬉しかったです。

アルバイトと学校の両立は、中々しんどい部分もありましたが、時間を有効活用して、アルバイトで収入を得ながら検定資格を学校で取得できる点は、この学校の魅力だと思います。何より、この学校のアットホームな雰囲気は嫌いじゃないです。

卒業する日が近づくにつれて、まだ卒業したくない！と思います。あっという間に時間が経ちました。ずっと高校生でいたい。

ボランティア活動や日頃の学校生活を通じて、この三年間でたくさんの人と関わった。資格試験に合格するために、クラスメイトと共に勉強したり、試験直前に教えあったりした。同じ目標に向かっている仲間がいたからこそ頑張ることができた。

時にはけんかすることがありましたが、私は、県立長田商業高等学校に入学できて本当に良かったです。卒業してからも友達と連絡を取り合ってまたみんなで遊べたらいいなって思います。

高校生活の長く短い期間でここまで1人1人を深く知った事は、人間関係は広さより、中身のある深さがどれだけ重要か、自分に伝えている気がします。

今では人間関係はもちろん、勉強でもここで初めて触れた簿記が、卒業後の進路に直結している以上、この学校での出来事や経験全てが自分の今後の人生にとって必要なものであったと感じています。

充実した高校生活のなかにもやはり思い返すと大小さまざまな後悔が残っています。

「学校は居れば窮屈、去れば寂しい」というのがやっと理解できたような気がします

こんな自分とともに高校生活を送ってくれたクラスメイトと、なんだかんだいいつつしっかり面倒を見てくれた先生方に「ありがとう」と言いたいです。